

一般質問

6月定例会では25人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は8月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

6月8日(月)

- ・尾関さとる 議員 5P
- ・高橋 一 議員 5P
- ・渡部 晃久 議員 5P
- ・本山 廣次 議員 6P
- ・服部 修寛 議員 6P
- ・八木 丈之 議員 6P
- ・中村かすひと 議員 6P
- ・岡本 将嗣 議員 7P
- ・小林けいめい 議員 7P
- ・竹山 聡 議員 7P
- ・水谷千恵子 議員 7P
- ・市川 智明 議員 8P

6月9日(火)

- ・西脇 保廣 議員 8P
- ・大津乃里予 議員 8P
- ・井上 文男 議員 8P
- ・平松 邦江 議員 9P
- ・河村 弘保 議員 9P
- ・柴田 雄二 議員 9P
- ・森 ひとみ 議員 9P
- ・彦坂 和子 議員 10P
- ・森 利明 議員 10P
- ・宇山 祥子 議員 10P
- ・木村 健太 議員 10P
- ・後藤美由紀 議員 11P
- ・鵜飼 和司 議員 11P

令和会
尾関さとる
議員



一宮市のICTの推進について

Q 一宮市学習支援サイトについて、今後も視聴することはできないのか。

A 教育委員会が主体となって学習動画等を配信する場合、現行の法では、著作物の利用制限がございます。今回つくりました「学習支援サイト」については、臨時休校期間に限って教科書会社の許可を得て、作成・配信をしておりますので、5月末で閉じることとなりました。

Q 一宮市はGIGAスクール構想に対してどういった考えを持っているのか。

A 学びのツールとしてのICT機器の利用はもう欠かすことができません。しかし、1

人1台をすべて公費で調達するのは現実的ではありません。私物の機器を使用することも視野に入れ、一宮市の置かれた財政状況、学校現場での利用状況等を考慮しながら、ICT機器を活用した学習への環境整備を進めていきたいと考えております。

Q 「特別定額給付金」のオンライン申請の一宮市の処理方法はどうか。

A オンライン申請分は、紙印刷し、住民基本台帳の情報と照合し、誤りや不備がないかをチェックします。その後、銀行口座情報や支給金額を給付金システムに登録して、支払い用の帳票、金融機関に提供する振込口座のデータを作成し完了です。

新緑風会
高橋 一
議員



災害時の避難について

Q 避難所での感染対策をどう考えるか。

A 石鹸と流水での手洗いやマスクの着用を周知徹底し、感染防止に努めます。

Q 感染症対策として新たに備蓄を考えているものには何かがあるか。

A 非接触型体温計は購入しましたので、新たに手洗い用石鹸の備蓄を進めます。

Q 東日本大震災では、障がいのある方の死亡率は2倍だった。主に逃げ遅れが原因であり、避難を支援する制度はあるか。

A 地域に支援を依頼する「災害時たすけあい隊」という制度があります。

Q 障がい特性を理解しておく必要があ

る。情報の提供もなく、助けに行くのは不可能だと思うが。

A 支援のためのパンフレットを作成しているほか、対象となる方の身体状況については情報を共有しています。

Q 災害時のペット同行避難についてどのようなガイドラインを設けているか。

A 屋内運動場の通路など屋外で、飼い主の責任の下、面倒を見ていただきます。

Q 飼い犬との同行避難について、防災訓練などで実施することはできないか。

A 総合防災訓練での採用を検討するとともに、自主防災会の防災訓練でも情報提供をしております。

令和会
渡部 晃久
議員



立地適正化計画について

Q 今後、市営住宅は立地適正化計画の居住誘導区域に基づき、市街化調整区域内施設の整理等を行うことになるのか。

A 市街化調整区域内でも需要が高い住宅は、建替事業を行うこととなります。

企業活動の新たなスタイルについて

Q 国では東京一極集中の是正と地方の担い手不足対策のため、UIターンを地方創生推進交付金で支援している。都区内に在住や通勤している方の移住に最大100万円を支給する移住促進支援補助金の応募状況はどうなっているか。

A 制度を始めた平成31年度から現在まで、愛知県全体でも応募がない状態です。

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの企業でテレワークを導入した。どこに住居しても勤務が可能なテレワーク。これを移住促進に活用するべく、制度の検討などしてはどうか。

A リニアが開通すると、一宮駅から東京まで1時間もかからない時代となります。テレワークを活用した新たな働き方が定着すれば、市への移住への期待も高まります。移住へのターゲットを、子育て世代だけでなく、より幅広い世代を対象とするべく研究しております。

令和会
本山 廣次 議員



学校再開後の子供たちへの対応について

Q 学校再開後の児童生徒の心のケアについてどのようなサポートを行っているのか。

A 担任や養護教諭、心の教室相談員などを中心とした、きめ細かな健康観察を行うとともに、生活アンケートや相談活動を行います。また、全職員で子どもを見守る一日観察日などの取組みも行います。

Q 2020年度、夏の中学生部活動大会が中止になったと聞いたが、代替大会は。

A 2020年度につきましては、市独自の大会を9月末から10月初めの期間に延期して開催する予定です。

大規模災害発生時の対策について

Q 大規模災害時の市民の方への情報伝達方法として、LINE株式会社と連携協定を結んで、LINEを活用してはどうか。

A LINEの活用は、現場で起きている生きた情報が、素早く収集できるため、防災面で非常に効果的であると言われており、他市での活用状況を、現在、調査・研究しているところです。

Q 防災訓練等の動画を地域で作成するにあたり、行政の協力をいただくことは可能か。

A 行政の立場からの指導という形でのご協力をさせていただきます。

一宮市民クラブ
服部 修寛 議員



学校再開に伴うリスクの軽減について

Q 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、小学校ではクラスを分けて授業を行い密を避けるとの事だが、中学校では対応できていない。長年の懸案の30人学級の実現をめざして欲しいがいかがか。

A 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも学級規模の縮小、それに伴う教職員の増員について、県教育委員会に訴えてまいります。

Q 全ての児童生徒へのパソコンやタブレットの配布、電子教科書の導入などでオンラインへの取り組みを加速して欲しいが、一宮市の取り組みについてお聞きしたい。

A パソコンのない家庭にタブレットを貸し出し、全ての子どもたちがオンラインで学校とつながるようにします。

地球環境に与えるフロン類の影響について

Q フロンがオゾン層破壊や地球温暖化など地球環境に多大な悪影響を与えている事を市民に周知し、冷蔵庫や空調機器の廃棄時には、確実にフロン回収対策を取るよう理解を促して欲しいがいかがか。

A フロンによる地球環境への悪影響についてPRを進め、フロンを利用した家電の適正な廃棄について、広報に努めていきたいと考えています。

令和会
八木 丈之 議員



一宮市の各種イベントの今後について

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止のための国からのメッセージを受け、経済部のイベントについて、どのような対応をしたのか。

A メッセージが発せられた2月から、七夕まつりを含むすべてのイベントを安全性や経済情勢を考慮して中止としました。

Q 他都市の全国的なイベントの開催状況はどうか。

A ひらつか七夕まつり、仙台七夕まつり、青森のねぶた祭など著名なイベントのほとんどが中止となっています。

Q 秋以降のイベント開催はどのように

考えているか。

A 国が示す防止策等の実現が可能か慎重に判断することが大切で、計画されている様々なイベントの主催者へ適切な判断を依頼していきます。

Q 来場者、参加者等の「安心、安全」を第一に、楽しいイベントが開催されることを願っているが、新型コロナウイルスが長期化するとも言われている中、来年のイベントはどう考えているか。

A 開催については、新しい生活様式、三密回避への配慮が必要で、その時の国の対策やワクチン開発の進捗状況など情勢を見ながら適切に判断していきます。

新緑風会
中村 かずひと 議員



新型コロナウイルス禍の情報提供について

Q 新型コロナウイルス禍により広報一宮5月号が休刊となったため、高齢者への市からの情報提供が限定的となった。今後、同様な事態で広報紙が通常配布できない場合の対応はどうするか。

A 今後同じような状況が発生した場合、広報紙に可能な限り最新の情報を掲載するとともに、ポスティングなどの方法も含め、配布していくことを検討していきます。

Q 感染警戒システムとして、スマートフォンの保護者メールによる感染者の発生状況に応じた対応連絡や追跡の方法を構築できると考えるが、小中学校への来校者や

学校関係者の中で新型コロナの陽性者や濃厚接触者が発生した場合、直ちに連絡されるのか。

A 学校において感染者が出た場合は、保護者メール、学校ウェブサイト、報道発表等でお知らせするようにしていきます。

安全な自転車利用環境の整備について

Q 一宮市自転車ネットワーク計画を進めていく上で、新型コロナウイルス禍を鑑みた対応されるのか。

A 自転車マナーの周知・啓発活動におけるオンラインの積極的な活用、整備においては、感染予防の徹底に努めます。

岡本 令和会

将嗣 議員



特別定額給付金の申請とマイナンバーカードについて

Q 特別定額給付金のオンライン申請はどのような手順か。

A マイナポータルにアクセスし、画面に従って市町村を選択して、申請者や世帯員の氏名、口座情報を入力し、通帳等の写真をアップロードする。最後にマイナンバーカードの署名用電子申請の暗証番号を入力し、送信すれば手続きが完了します。

Q オンライン申請に使うマイナンバーカードはどんなものか。

A 氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー、顔写真が載ったICチップ付きの

カードです。身分証明書のほか、様々なオンライン手続きに利用できます。

Q マイナンバーカードには、どのような利便性があるのか。

A 令和3年3月から、健康保険証として利用できる予定です。また、消費活性化策として、令和2年9月開始予定のマイナポイント事業でも必要となります。

Q 特別定額給付金のオンライン申請では、様々な問題があったが、どう考えているか。

A 全国の自治体からの改善の求めにより、一部改善されました。市民の皆様の目線に立って、声を上げることは重要です。

小林 新緑風会

けいめい 議員



一宮市立市民病院の緩和ケア病棟について

Q 市民病院では、平成30年10月に地域がん診療連携拠点病院の機能を強化するため、がん患者さんを対象にした緩和ケア病棟が整備されたが、現在の利用状況はどうか。

A 平成30年10月から使用を開始しました新病棟の5階に14床を整備し、入院患者さんを受け入れております。今年度の病床の利用率は73.5%、患者さんの平均の入院日数は22.5日、入院患者数は240人となっております。

Q 緩和ケア病棟というものがどんなものか、ホスピスと同じなのか。

A 緩和ケア病棟とホスピスは、どちらも患者さんに苦痛がないよう、医療だけでなく心のケアを提供することを目的としていますが、緩和ケア病棟は、症状緩和をし、余命を穏やかに過ごしていただけるような病棟で、ホスピスは余命の短い患者さんが最後を人間らしく生活する病棟です。

Q 市民病院の緩和ケア病棟の特徴はどのようなことがあるのか。

A 治療を積極的に行う一般病棟と違い、中庭、談話室、瞑想スペースや屋上庭園といったものも整備をしております、とても時間がゆったりと過ぎていくような安らぎを感じさせる病棟となっております。

竹山 令和会

聡 議員



緊急時における財政の考え方について

Q 財政調整基金の近年の残高は、どのように推移してきたか。

A 平成29年度末で44億4千万円余、平成30年度末で44億5千万円余、令和元年度末で42億5千万円余でした。執行における削減努力や、契約差金などにより、各年度当初で予算化した繰入額と、ほぼ同額を年度末には積み立てなおす努力を続けてまいりました。

Q 今後の財政運営について、どのような認識を持っているか。

A 店舗の休業や外出の自粛による経済活動の停滞から、今後の税収にも影響が避けられない状況です。歳入の根幹を成す市税収入

が減れば、これまで以上に厳しい財政運営が強いられることは確実です。

これまでも予算編成にあたっては、「選択と集中」、そして「スクラップ・アンド・ビルド」を掲げ、費用対効果の面から、『不要』な事業のスクラップ（廃止や縮小）を推進してきましたが、今後は、『不急』な事業についても、改めて実施時期や事業規模を見直すなど、過去の慣例やルールに囚われない大胆な改革も視野に、この未曾有の難局に立ち向かいたいと考えております。

水谷 公明党一宮市議団

千恵子 議員



感染症拡大のもとでの自然災害への対応

Q 災害時の避難は、命を守ることを最優先に状況に応じて安全が確保された避難場所（避難所）へ行くことが重要である。しかし、感染症拡大が懸念される状況下で、感染によるリスクが高い方に対する避難の判断基準をどのように考えているのか。

A 避難所へは様々な人が避難されるため、感染リスクは自宅より間違いなく高くなります。まずは、本当に避難が必要かどうかを判断いただき、親戚や友人宅への避難も選択肢の一つとして考えていただくようお願いしていきます。

Q 感染症感染防止の観点から、避難所

においても一定のスペースを確保しなければならないがその方策はどのようにしていくのか。

A 大規模災害発生時は、指定避難所として開設する小中学校の体育館や武道場に加え、学校の教室利用や、市内137か所の補助避難所の開設で過密を防ぎます。

Q 避難所の収容人数は、3密を避けるためにスペースを確保した場合、現在公表している人数と変わってくると思うがどのくらいの収容人数になるのか。

A 避難所でソーシャルディスタンスを個々人で確保した場合の収容人数は、定員の約4割程度と想定しています。

公明党 一宮市議員
市川 智明 議員



コロナ禍の学校・保育現場の対応について

Q 小中学校では、気温が高くなるこの時期に登下校中のマスク着用についてはどのような指導をしているか。

A 登下校中も含め、学校では常にマスクをするように指導をしています。熱中症対策としては、こまめな水分補給をさせるとともに、マスクの熱がこもるようなときには、マスクを外して調整するような指導もしております。

Q 私立保育園では、除菌水の手配に苦労していると聞いたが、市で確保した分を支給できないか。

A 他の施設に配布できるだけの量は確

保できていませんが、寄付された除菌水は寄付者の意向を確認し、随時私立保育園等にも配布しています。

Q 小中学校では、児童生徒の下校後に先生方が除菌作業を行っている。業務負担軽減の対策をどのように考えているか。

A 市教委で「子どもと向き合う時間を確保するためのガイドライン」を作成し、校内会議の持ち方、会議の時間や人数を制限すること、オンラインを有効活用することなどを示し、授業の準備や教材研究などの時間確保に努めています。また、人的な補充に関しては、繰り返し、県教育委員会に働きかけております。

新緑風会
西脇 保廣 議員



都市計画道路の見直し案について

Q 一宮市の都市計画道路の整備状況は。

A 愛知県が決定する37路線、一宮市が決定する47路線あり、整備率にして約67%となっております。

Q 愛知県全体の整備率約73%と比べると、一宮市の整備率が低い水準となっている。何か理由はあるのか。

A 一宮市は道路密度が高く、鉄道を横断する路線が多いことや、宅地化が進み多くの建物移転が必要となることなど、整備が難しい路線が多く、なかなか整備が進まないことも原因の一つであると考えております。

Q 都市計画道路整備の見直しが進んでいるが、見直すこととなった背景は。

A 人口減少や厳しい財政状況の変化、集約型都市構造への転換や既存ストックを活用した道路整備への転換が求められているということでもあります。

Q 富田一宮線は存続対象路線となっている。今後の整備についてどう考えるか。

A 愛知県が整備を行います。確認しましたら、まずは事業着手している路線の整備をしっかりと進め、次に事業化する路線や箇所について、周辺道路の整備状況や交通状況を踏まえたうえで、検討していくということでございます。

真風会
大津 乃里予 議員



一宮市の防災に関する実情について

Q 避難所が開設される場合、いつ連区長や町会長等に連絡があるのか。

A 連区や町内会への連絡は行わないこととしております。

Q 避難所の鍵を開ける人が誰なのかわからないから不安だ、という声が聞こえた。例えば自主防災会で顔合わせはできないか。

A 緊急初動部の、避難所資機材点検時に町内役員の方との顔合わせは可能です。

Q 小信中島連区の防災備蓄倉庫内は整理できているとは言えないが、いかがか。

A 学校等とも調整を図り、整理に努めます。

Q 非常食の備蓄は冠水しない高さに保管されているか。

A 災害時の物資輸送協定を締結している物流業者の倉庫3階（地上約15m）に委託保管しており、冠水の恐れはありません。

Q 市として必要最低限と考える備蓄は一体どれくらいであるのか。

A 南海トラフ地震の被害想定を参考に、ビスケットとアルファ化米の2種類を11万3,000食ほど備蓄しています。

Q 災害で電柱が倒れ道路が寸断された場合、備蓄食糧の運搬等どう対処するのか。

A 緊急輸送道路における無電柱化対策を進め、分散備蓄も検討しています。

令和会
井上 文男 議員



これからの一宮市

Q 市制施行100周年について、コロナ禍のなか100周年記念事業は状況に応じ、柔軟な事業展開ができないのか。

A イベントなどを単に中止や自粛するだけではなく、ウェブ中継を活用するなど人を集めない新しい形も視野に入れながら皆さまの記憶に残る記念事業を検討してまいります。

Q 中核市移行について、コロナ禍のなか、準備は進んでいるのか。

A 令和3年4月1日の移行に向け滞りなく進めております。

Q 中核市移行を大きなチャンスとして

取組みを進めているのか。

A 移行に伴い与えられる事務権限を最大限に活用し、地域の実情に合わせた独自の基準や施策に取組み、一宮市ならではのまちづくりを進めてまいります。そして、尾張地域の中核都市として積極的に情報発信を行い、魅力ある、選ばれる「まち」を目指します。

公明党一宮市議団
平松 邦江 議員



介護や福祉の現状と課題

Q 新型コロナウイルス感染症拡大の中で、市内の介護施設や障害者施設では感染者が出なかった。介護現場でのサービスはどう行ったのか。また、高齢者施設や事業が休止していたことの影響と、再開についてはどうなのか。

A 国の感染対策マニュアルを基に「1ケア1手洗い」等の予防対策を徹底し、サービスを提供しました。長期の自粛で歩行困難や認知症の悪化等が懸念され、フレイルが進むと思われるので順次、貯筋教室を再開します。また、ひとり暮らしの方への「こんにちば運動」を電話で行います。

Q 緊急時の情報伝達について今後紙媒体等も含め改善を検討されたい。

A ICTの他、新聞やテレビ、ラジオ等を使って広報しましたが、ICTに馴染みのない方への情報発信にも努めていきます。

市民の健康をまもる取り組み

Q コロナ禍にあっても、健診や予防接種の機会確保をお願いしたい。次の感染拡大に備え、高齢者の重症化と医療現場の混乱を防ぐため、予防接種を支援して欲しい。

A 高齢者の方へは、成人用肺炎球菌及びインフルエンザ予防接種の必要性を引き続き周知していきます。

公明党一宮市議団
河村 弘保 議員



新型コロナ感染症が医療に与えた影響

Q 発熱をとまなう感染症に罹患した患者を集約させるような体制、すなわち発熱外来・PCR検査所について、どのような見解を持っているか。

A 一宮市周辺に検査所が設置されれば、地域医療の維持に繋がるものと思いますが、中核市移行前の現時点では、検査の実施主体は市ではなく県であるため、県から設置について協力要請があれば、医師会と協議しながら対応していきたいと考えます。

カードを活用し、一定額を前払い（チャージ）などした人に国がポイントを付与する「マイナポイント」制度が始まる予定もある。普及促進のために、どのような体制をしているのか。

A 令和2年度は、庁舎の14階に交付専用の会場を開設する予定です。しかし、新型コロナの感染拡大防止のため、積極的な体制を整えられない状況です。今後、感染症拡大の防止策とのバランスを取りながら交付の推進を行いたいと考えております。

個人番号カードについて

Q 令和2年9月からは、マイナンバー

その他の質問項目

・コロナ禍における妊婦への配慮について

公明党一宮市議団
柴田 雄二 議員



地方創生臨時交付金の活用について

Q 国の第2次補正予算で計上されている地方創生臨時交付金は2兆円規模と聞いている。飲食店ではテイクアウトサービスを取り入れているが、社会福祉協議会の「ちょこボラサービス」でも高齢者等向けに配達サービスが適用できないか。

A ちょこボラサービスとして飲食店から料理を配達することは適用となります。

Q 新型コロナの第2波、第3波に備え、タクシーの料理配達を認める国の特例措置を活用して、デリバリー体制を検討されては如何か。

A タクシー業界や飲食業界、商工団体が

ら具体的な相談があれば、他市の事例も参考にし、応援できることはないか研究していきたいと思えます。

Q 近隣市町では水道の基本料金の減免をされている。テレビ等で報道されており、多くの市民から要望されるが、本市では検討しないか。

A 本市の水道料金は他の自治体と比べて安いこと、市内96%の利用者の月額基本料金が約670円と安いこと、事業収入減少で安定した水道事業の継続が困難になること、この3点を鑑み、水道料金の減免支援は厳しいと判断しています。

真風会
森 ひとみ 議員



木曽川堤さくらについて

Q 令和2年2月に実施された土壌調査について、結果はいかがだったか。

A 土壌検査は3カ所、土壌硬度と透水性の測定から柔らかすぎる土壌で保水力に乏しく排水過多であることが判明しました。

Q 市制80周年記念事業で植樹された桜は天然記念物（エドヒガン、ヤマザクラ、シダレザクラ）3種の桜か。他の桜もあるようだが文化財の維持に影響はないのか。

A 天然記念物の3種以外でも名称及び天然記念物の指定に含まれ木曽川堤全体の桜を文化財の桜として維持管理しています。

Q 木曽川堤（サクラ）保存管理検討委

員会に地元の代表者が参加することはできないか。

A 参加の判断は委員会の事務局である愛知県ですが委員会構成員である博物館から事務局に参加の要請をしたいと考えます。

Q 策定中の一宮市景観計画とはどのような計画で、木曽川堤（サクラ）はどのような位置づけになるのか。

A 景観計画とは良好な景観形成に関する方針や基準などを景観法に基づいて定める計画であり、「木曽川堤（サクラ）エリア」を含む木曽川沿線地区を木曽川がおりなす自然景観の保存等を目指す、景観形成重点候補地区に位置付けたいと考えます。

日本共産党一宮市議会
彦坂 和子 議員



新型コロナ対策をさらに進めて

Q 市民生活や企業の負担軽減、手洗いの実施で感染予防の促進、熱中症対策の促進のため、水道料金の基本料金の減免の実施を望むがいかがか。

A 市の水道料金は安く、市民生活や企業の負担軽減に貢献していること、安定した水道事業の継続が重要であること等から減免措置を行う考えはありません。

Q 第2波に備え、感染症拡大予防のため、市でドライブスルー方式の検査所を設置してほしい。市民にとっては非常に心強く安心できると思うが、いかがか。

A ドライブスルー方式の検査所は広い場

所、住民の同意、医師会との調整等が必要等、課題があります。実施主体である県の問合せ等には速やかな対応に努めます。

子どもたちに安心安全な学校給食を

Q 夏の調理現場は過酷な労働環境だ。衛生管理基準で望ましいとされている温度湿度となるよう、共同調理場の熱中症対策を緊急に検討してほしいと思うがいかがか。

A 建物の構造自体は変えられないので、調理委託業者等と協議し、設備面で労働環境の改善を図っています。また、業者に熱中症対策を講じるよう依頼しています。

令和会
森 利明 議員



特別定額給付金が受け取れない新生児に「特別出産祝い金」を支給してはどうか

Q 10万円の特別定額給付金の支給対象となる一宮市民は約385,000人、最近は人口が減少傾向にある中、5年間の人口推移はどうなっているか。

A 令和2年は384,790人でした。5年間で1,304人減っています。

Q 特別定額給付金は、令和2年4月27日生まれの届け出を、後日提出した場合は貰う権利がないのか。

A 4月27日生まれの方の届け出を、後日提出された場合も支給いたします。

Q 4月28日以降に生まれた新生児は特

別定額給付金が貰えない。4月28日以降に生まれた新生児に「特別出産祝い金」を令和2年度中に生まれた方に支給しては如何か。仮に出産祝い金を令和2年度の新生児が2,670人と仮定し、3万円を支給すると約8千万円必要になる。いろいろな方面に補助している施策を見直しすれば可能ではないか。

A 市では、従来から子育て施策に注力しておりますが、財政調整基金を、今年度予算では20億円、新型コロナウイルス対策の専決予算にて15億円を取り崩して予算を編成しており、新生児への祝い金の支給は、容易なことではないと考えております。

いちのみやを良くする会
宇山 祥子 議員



災害時のペットの命を守るために

Q 飼い犬に鑑札や注射済票が装着されないことが多いが、災害時にペットの行方不明を免れるため、中核市移行を機に「犬と猫のマイクロチップ導入助成」を検討して欲しいがいかがか。

A 他市町の状況も見つつ検討します。

Q 避難所の屋内へのペット同伴は原則禁止というが、飼主の防災意識を高める為に、市Webサイトにペットの防災情報を掲載した上で、狂犬病予防注射案内書にリンク先のQRコードを印刷して配付し、ペットとの避難方法やペットの為に防災備蓄品等についての情報を周知してはどうか。

A 掲載できるか検討させていただきます。

新型コロナウイルスに学ぶ

Q ひとり一律10万円の特別定額給付金について返信用封筒の宛先が近畿日本ツーリストになっていたが、業務委託、更に個人情報漏洩についてどう捉えているか。

A 一宮市における特別定額給付金の委託事業は、個人情報の管理体制を含め適正に業務が遂行されています。

その他の質問項目

・いのちの水をつなぐために

令和会
木村 健太 議員



SNS (LINE) を利用した情報化推進について

Q SNSにおいて、一宮市では、どのような活用をされているか。

A SNSを活用して、当市の魅力を国内外に情報発信し、また、災害に関する緊急情報の発信などにも取り組んでいます。

Q 行政への相談において、若い世代の皆さんは、LINEを使用する方が気軽に時間の縛りもなく送信でき、また、今回のような緊急時こそさまざまな声を聞き、対応することが行政に求められると思うが、このような取り組みを考えてほしいがいかがか。

A LINEについては、今回のような緊急時にも、予約機能や相談機能などと連携させることにより、庁舎内での滞在時間の短縮や、対面を避けるための有効手段になると考えられます。令和2年度、当市では、24時間365日対応できる「A1総合案内サービス」A1チャットボットを導入する予定です。導入後、問い合わせ内容や件数等、利用状況を分析し、A1チャットボットとLINEを連携させることによって、市民の方からの通報や申請、予約、相談の受付などさらに付加価値を付けた新たなサービスの提供について、総合的に研究してまいります。

後藤 美由紀
議員
いちのみやを良くする会



保育士の在宅勤務について

Q 緊急事態宣言が発令され、一宮市の保育園では、できるだけ過密状態にならないよう5月31日まで限定保育が行われたと確認しているが、何割程度の園児が登園したのか。

A 平均すると3割程度でした。

Q 保育士の感染拡大防止の観点から、名古屋市のように在宅勤務の導入について提案したが、一宮市ではどう取り組んだか。

A 在宅勤務については、5月11日から31日までの間に正規職員が40名、会計年度任用職員33名が行いました。

Q 6月以降も継続する予定はないのか。

今後、お盆の時期や土曜日など園児が少ない時に、日頃できない研修的な内容やピアノの練習、個人情報の入らない書類の作成等を在宅勤務として取り入れることはできないか。

A ご提案の内容につきましては、慎重に検討していきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・今後の学校教育のあり方
- ・今後のコロナ対応について

鵜飼 和司
議員
真風会



緊急事態下における高齢者福祉の対応と今後について

Q 緊急事態下において、私たち市民生活の基準は変容し、人と人とのコミュニケーションには工夫が求められた。市としては、一人暮らし高齢者の安否確認や相談、貯筋教室等の介護予防への柔軟な対応が試されている。いわゆるオンライン時代を迎え、ICTなどに対応ができない方がなおざりになることがないように、市民の皆さんに寄り添う対応が一層求められる。今後の高齢者福祉サービスへのお考えはいかがか。

A 高齢者福祉施設の運営や介護予防教室の活動には、新しい生活様式に対応して対策

を講じています。一方、市では高齢者の方が要介護状態になっても、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、医療・介護・住まい・生活支援等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向け、地域支援体制づくりに取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響により、今後は議員のおっしゃるようにICT等に対応できない方々がおきざりになることがないように、きめ細やかな対応で高齢者福祉の向上に努めてまいります。

その他の質問項目

- ・一宮市内のオンライン診療と院外処方

次回9月定例会の日程

日程等は変更になることがあります。 ID 1005106

本会議	常任委員会
9月 2日(水) 開会・議案上程	9月14日(月) 総務委員会
9月 8日(火) 一般質問	9月15日(火) 福祉健康委員会
9月 9日(水) 一般質問	9月16日(水) 経済教育委員会
9月10日(木) 一般質問	9月17日(木) 建設水道委員会
9月25日(金) 討論・採決・閉会	

■開議時刻……午前9時30分
■傍聴受付時刻……午前9時(定員10名)

■開議時刻……午前9時30分
■傍聴受付場所……本庁舎12階 議会事務局
■傍聴受付開始時刻……午前9時(定員10名)

編集後記

6月定例会において、3密対策として、議案の提案理由説明、採決は全議員が出席し、それ以外の議事は定足数(半数=19人)に留意して出席議員を減らすなどして行いました。また、常任委員会では、原則1議案ずつ上程し、議案ごとに当局職員を入れ替えて密にならないよう行いました。

皆さま方には、3月定例会に引き続き、議会傍聴をお控えいただきありがとうございました。今後も、皆さまに興味を持っていただける情報をお届けできるよう、編集委員一同努めてまいります。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 渡部 晃久
 - 副委員長 鵜飼 和司
 - 委員 本山 廣次
 - 大津 乃里予
 - 市川 智明
 - 小林 けいめい
 - 宇山 祥子
 - 彦坂 和子

議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト(ホームページ)からご覧いただけます。 ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター いちみん